

# さんきのいえ 1月

発刊 R8年1月 No.348  
④ 861-8072 熊本市北区室園町 20-40  
☎ 096-346-3323 Fax 096-346-3610  
児童発達支援センター 三気の家  
e-mail [non.kon.gen@titan.ocn.ne.jp](mailto:non.kon.gen@titan.ocn.ne.jp)

## 三気の家の理念及び療育方針

- ・**設立理念**:「社会の中で生きがいを持ち、豊かな人生を送れるように、ひとりの人として生きる力につける」を設立理念とし「のんき・こんき・げんき」をスローガンに療育を行っています。
- ・**療育方針**:食事、排泄、衣服の着脱、挨拶などの基本的生活習慣を確立させます。
- ・**コミュニケーション能力**を養うため、歩く、座る、見る、真似る、指示に合わせる、言葉の指導などを行います。持続力、適応力、体力をつけるために、リズム体操、集会、戸外活動、製作活動などを行います。

## 『ファミリー学習会のお知らせ』

当園では、社会生活の土台作りとして集団活動を大切にしながら、一人ひとりに合わせた個別の学習にも取り組んでいます。朝の親子タイムなど子どもさんと取り組まれる中で、「なぜこのような課題に取り組んでいるのか」「どんな力を育てることを目標にしているのか」「家庭でどのように声かけや支援をすると良いのか」といった疑問を感じられることもあるのではないかでしょうか。今回のファミリー学習会では、保護者の方と一緒に学習の目的や進め方を共有し、子どもさんが「できた」「これなら頑張れそう」と前向きに取り組める課題の考え方や、日常生活に繋げるポイントについてお話しします。ご家庭での関りのヒントとして、是非ご参加ください。

(児童発達支援管理責任者 池田)



◆テーマ：「学習を生活に生かす」

◆日時：1月 28日(水) 10:00～11:30  
◆場所：三気の家（2階・プレイルーム）

## 文集『さんき』についてのお知らせ

毎年、子どもさんの成長記録として文集『さんき』を制作しています。お子さんの成長を振り返る大切な機会です。在園中の保護者の励みにもなりますので、期限内の提出をお願い致します。

**提出期限：2月 27日（金）**

- B5用紙
- 横書き
- 左右余白 30mm
- 行数 31行
- HG丸ゴシック M-PRO 体
- 1行字数 36文字
- 題名 16フォント
- 文章 10.5フォント

## ありがとうございます

- \*動作法訓練会 … 森 芳輝先生
- \*音楽療法 … 外村 有佳子先生
- \*消毒ディスペンサー … 松山 健様  
・スタンド
- \*菓子（おはぎ） … おべんとうのヒライ様
- \*仮装用衣装 … 野嶋 真紀様

## 職員紹介

11月より相談『さんき』に相談員として勤務しております松岡有希です。こども達の成長を見守り、喜びあえたらと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



## クリスマス会

12月5日（金）クリスマス会で北熊本から藤崎宮駅まで電車に乗り熊本市街へ出かけました。電車に乗る前から「まだかな」と期待に胸を膨らませる姿が見られました。街中ではクリスマスの装飾に目を輝かせ「きれい」「サンタさんいるかな」と季節の雰囲気を楽しんでいました。日頃の療育の中で取り組んでいる“順番を待つ”“選ぶ”の練習の成果が發揮され落ち着いて行動する姿が多く見られました。レストランではメニュー表を見ながら自分で食べたい物を選んだり、友達と料理を分け合ったりと和やかな時間を過ごせました。買い物ではクッキー やミニカーなど自分で選びたい物をじっくり見て選ぶ子や、2つの選択肢を提示すると、考えて選ぶ子もあり、それぞれの成長を感じました。楽しい経験の中で自信や意欲がさらに育まれた一日になりました。



## ダイナミックリズム

12月13日（土）ダイナミックリズムを行いました。体育館は寒いくらいだったので、こども達は冷たい空気も味方にして元気に活動しました。リズムは、「静・動」を組み合わせた動きや、姿勢に気を付けて活動しました。『動いて程よく疲れる感覚、体を止めて落ち着く感覚』の経験は、体に意識を向け気持ちをコントロールする力を育むことにつながります。保護者と一緒に行うリズムは全体が大きな渦となり一体感を感じる運動となりました。もうすぐクリスマスということもあり、製作ではツリー飾り、人間教材ではラインダンスなど季節も感じられるような、親子で楽しんでいただける時間になったと思います。寒い中、最後までご協力いただいた保護者の皆さん、本当にありがとうございました。これからも、親子で心と体を育む時間を大切にしていきたいと思います。



## 火災避難訓練

幼児の安全を守るために取り組みとして、消防士 3 名の立ち合いのもと火災避難訓練を実施しました。非常ベルを合図に、こども達はいつも通り話を聞き、落ち着いて安全な場所へ避難することができました。消防士の方にも「落ち着いて行動できていました」と評価をいただき、避難方法についての指導も受けました。

訓練の後には、消防車など、普段は間近で見ることのできない装備を見せてもらい、こども達は目を輝かせていました。また、職員による消火器を使った消火訓練も見学しました。今後も安全に配慮した療育に努めてまいります。

